

# プロジェクト進捗管理シート

発信

「信州」の価値向上と発信

## 9 信州ブランド確立プロジェクト

～県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造～

総括マネージャー

観光部長

### 目 標

都道府県レベルでは日本初の県民の総力を結集した総合的ブランド戦略に基づき、「信州」の価値に磨きをかけるとともに統一感のある発信を行い、信州ブランドが幅広く認知されることをめざします。

### 総 合 分 析

「県民総参加による『信州』の誇りある発信と新たな『価値』の創造」をめざし、2つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標2項目のうち、「順調」は1項目、「実績値なし」は1項目となっています。

「信州ブランドの県民認知度」は、銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～の整備・開設を始めとする信州ブランド戦略の推進、「おいしい信州ふード（風土）」プロジェクトや信州ワインバレー構想、県民総参加のおもてなしプロジェクトの実施等により県民に対する信州ブランドの認知が進んだ結果と考えられます。

このことから、プロジェクト全体の取組は着実に進んでいると考えます。

### ～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

信州ブランドの魅力や信頼性が広く認知され、国内外で「信州」が選ばれるようにするため、信州の魅力をまるごと共有（シェア）する信州首都圏総合活動拠点「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」では、拠点での評価をフィードバックするなど信州のブランド力向上に取り組めます。

また、県民が誇りを持って信州の魅力を発信するため、キャッチフレーズ「しあわせ信州」に込めた想いの一層の普及・浸透を推進します。信州ブランドを磨き上げるため、地域資源のブランド化を支援する県内の様々な機関（しあわせ信州食品開発センター、地域資源製品開発支援センター等の県支援機関、経済団体、JA、長野県デザイン振興協会等）の連携を深めます。

### 達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗  
○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない  
・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指 標 名	年度	単位	基準値	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
信州ブランドの県民認知度	目安値	%		50.0	60.0	70.0	75.0	80.0
	実績値		—	71.4	65.3			
	進捗区分			順調	順調			
進捗状況の分析			H26年度はSNSを活用したプロモーションや県民参加型の企画により県民の認知度向上を図りました。この結果、事業者の方が信州ブランド戦略のロゴマーク(信州ハート)を商品パッケージやポスターなどに使用するなど、認知度向上に加え、企業PRの上でも有効な手段となっています。					
【目標設定理由】 大多数の県民に認知されていることを目標として設定	今後の取組		・「信州ハート」に込められた想いを多くの方に共感していただくため、「信州の山」「健康」「美しさ」に着目した信州の魅力を発信					
【関連アクション】 アクション1, 2			・「おいしい信州ふード（風土）」の「物語」を通じた信州農畜産物の魅力の発信 ・県内企業との連携による信州のイメージ向上					

(様式第1号)

指標名	年度	単位	基準値 (H22年)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
都道府県別地域ブランドランキング	目安値	位		—	13	—	10	10
	実績値		17	—	—			
	進捗区分			実績値なし	実績値なし			
	進捗状況の 分析	調査内容の見直しのため「実績値なし」ですが、H24年度が13位と基準年の17位から順位が上昇していることから、信州のブランド力は県内外で評価が高まっていると考えられます。						
【目標設定理由】 過去最高位(10位)を目標として設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「銀座NAGANO」の積極的な活用</li> <li>・信州のヒト、コト、モノをトータルに発信し、長野県との強固なつながりを構築</li> </ul>						
【関連アクション】 アクション1, 2								

**アクション  
1**

**(信州ブランドの普及・拡大)**

信州ブランドコンセプトやキャッチフレーズの県内外への統一感のある発信を行い、信州ブランドを普及・拡大します。

**【アクションの進捗状況】**

「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」を開設し、信州の「美しさ」と「健康」をもたらす食文化やライフスタイルを多くの方々と共有（シェア）するため、信州自慢の商品を取り揃えるとともに、各地域主催のイベントを実施して、信州ファンの獲得を図りました。

また、「おいしい信州ふーど（風土）」を普及するため、メディアやキャラバン隊を活用した情報発信や取扱店舗の登録などに努めるとともに、地域ぐるみでの「おいしい信州ふーど（風土）」物語づくりを行いました。

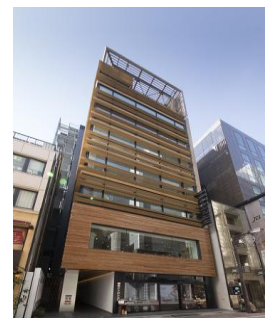
**主な成果**

**●信州首都圏総合活動拠点**

**「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」をオープン**

東京銀座すずらん通りにオール信州活動拠点として10月26日にオープン  
(H27.3.31現在)

- ・来場者数：380,725人  
(参考：成果目標 (H28年度：年間35万人) )
- ・県産品販売と観光情報の提供(1・2F)  
取扱商品 1,000種類  
(原産地呼称管理制度認定ワイン・日本酒、七味唐辛子 銀座オリジナル銀缶、市田柿、おやき他)
- ・移住相談件数(4F) 731人 (前年度比 1.2倍)
- ・イベントの実施 202団体(2F)  
「おいしい信州ふーど(風土)」商談会、木曾・北アルプス地域復興支援イベント など



銀座NAGANO

**●「おいしい信州ふーど(風土)」プロジェクトを推進**

地域ぐるみで「おいしい信州ふーど(風土)」物語づくり

- ・地域の多様な人々の連携により「おいしい信州ふーど(風土)」の取組を進める地域協議会を県下10地域で設置
- ・H26は、各地域協議会で「物語」づくりを行い、足元の価値を共有
- ・H27からは、作成した「物語」を使用して、銀座NAGANO等で発信活動を強化



おいしい信州ふーど(風土)

**アクション  
2**

**(商品や物産、サービスの新たな価値の創造・発信)**

信州ブランドに相応しい商品や物産、サービスを提供する仕組みを構築するとともに、継続的に信州のブランド力を高め、人々の期待を上回る新たな価値を創造・発信します。

**【アクションの進捗状況】**

企業の新食品開発スピードの向上と、市場ニーズに沿った商品開発を支援するため、工業技術総合センター内に食品の試作、評価を一体的に行う「しあわせ信州食品開発センター」を整備しました。

また、信州ワインバレー構想に沿って、「ワイン生産アカデミー」の開催、「里親ワイナリーによる醸造技術習得研修」の実施、「NAGANO WINE FES in TOKYO」の開催など関係部局が連携して、「ワイン産地の形成」「プロモーション」「価値の向上」に取り組みました。

さらに、「ずく出し！知恵出し！おもてなし」宣言の登録や地域のおもてなしをリードする人材を育成する「信州おもてなし未来塾」の実施、県内で取り組まれているおもてなしの活動を「信州おもてなし大賞」として表彰するなど、県民総参加によるおもてなし向上に取り組みました。

**主な成果**

**●しあわせ信州食品開発センターを整備**

食品の試作開発支援機能を強化するため、工業技術総合センター食品技術部門に試作加工装置、テイasting棟を整備  
(H27年4月オープン)



しあわせ信州食品開発センター

**●信州ワインバレー構想の推進**

・ワイン生産アカデミーの開講 (H25年度から継続)

区分	目標	実績	主な受講者の動向 (H27. 6. 1現在)
H25受講者	30名	43名	・ワイナリー設立3名 (H29目標：5名) ・ぶどう栽培開始3名
H26受講者	30名	41名	・ぶどう栽培開始5名 ・醸造研修受講4名



NAGANO WINE FES in TOKYO

**★波及効果**

- ・塩尻ワイン大学 (H26. 5～)
- ・千曲川ワインアカデミー (H27. 4～)

- ・里親ワイナリーによる醸造技術修得研修の実施 (受講者4名)
- ・NAGANO WINE FES in TOKYOの開催 (H27年1月)  
場所 東京都千代田区 帝国ホテル東京  
参加者数：一般 589名 参加ワイナリー：23社
- ・Wine garden in NAGANO 2014 (H26年8月)  
来場者数：延3,000人 参加ワイナリー：25社



NAGANO WINE ロゴ

**●ずく出し！知恵出し！おもてなしプロジェクトを推進**

相手の気持ちになって行う「おもてなし」を、県民総参加で行い、観光旅行者の満足度向上と再来訪の促進を図るプロジェクト

(H26年度末実績)

ずく出し！知恵出し！おもてなし宣言の募集 (登録件数) : 2,199件 (人数 : 45,671人)